



ふれあい



No.147



目くばり 気配り ゆとりの心
みんなで築く安全作業

総会特集号



総会の様子

自主

自立

公益社団法人

共働

共助

伊達市シルバー人材センター

伊達市山下町146-8 TEL23-6448・FAX25-6960

大滝地区連絡所

伊達市大滝区本郷町84-1(大滝基幹集落センター) TEL68-6771・FAX68-6761



就任にあたって



新理事長 長橋 敏和

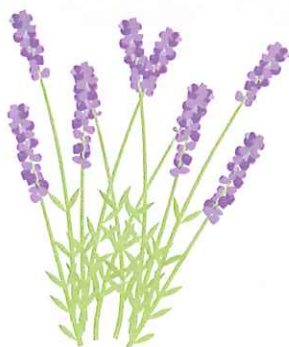
令和4年度任期の途中において、菅原理事長に代わり就任いたしました。

今後はシルバー発展のため、国並びに伊達市をはじめ関係機関のアドバイスとご支援を受け、さらに会員の皆様方には全面的な協力を願い全力で業務に取り組んで参ります。

さてシルバー人材センターは、企業等の雇用延長に伴う会員確保の困難な問題、長引く新型コロナウイルスの影響や円安傾向による輸入物価の上昇によって日本経済は悪化の一途をたどっております。

この様な悪い影響を受け、令和3年度の会員数は300人を割り込み、事業実績は700万円を超えて減額となりました。

将来に明るい展望を期待したいところですが、世界情勢から見るとロシアのウクライナ侵攻に伴いさらにエネルギーと穀物の不足による食糧や輸入製品全般に高騰を見せ、特に年金生活者のシルバー会員の皆様には厳しい日々が続くことが懸念されますが、シルバー人材センターの目的でもある、健康で共に働き、共に助け合って困難な時代を乗り越え地域の発展に貢献してまいりたいと存じますので今後ともセンターの運営にご協力よろしくお願い致します。



令和4年度定時総会に寄せて



伊達市長 菊谷 秀吉

本日、公益社団法人伊達市シルバー人材センターの令和4年度定時総会が開催されますことに、心よりお祝い申し上げます。また日頃より、伊達市の行政運営に格別のご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、今般の新型コロナウイルス感染症については、未だ終息の目処が立たず、依然として厳しい状況にあり、追い打ちをかけるかのように、ロシアのウクライナ侵略に伴い、先の見えない不安は募る一方ですが、この状況が一日でも早く解消され、平穏な日々が取り戻せることを心から願うばかりであります。

また、全国的に人口の減少・少子高齢化が進行しており、人材不足問題が深刻化しています。そのため、高齢者の「力」がますます重要となってきております。

貴センターは「生きがいを得るための就業」を目的とし、積極的な事業の受託や多種多様な活動を展開し、高齢者の社会参加の推進や地域社会の活性化にも貢献しておりますことは、会員の皆様を始め、役員の皆様のご尽力の賜物と深く敬意を表する次第であります。

貴センターにおかれましては、今後もこれまで培ってきた実績と会員皆様の豊かな経験や知識・技能を活かし、活力ある地域づくりにお力添えを賜りたいと存じます。

最後になりましたが、貴センターのますますのご発展をご祈念申し上げますとともに、役員並びに会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和4年度定時総会に寄せて



伊達市議会議長 阿部 正明

公益社団法人伊達市シルバー人材センターの令和4年度定時総会に当たり、伊達市議会を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。

日頃より、伊達市シルバー人材センターの会員並びに職員の皆さまが、豊富な知識と経験、技能を生かして、お元気にご活躍されておりますことに対しまして、深く敬意を表するところでございます。

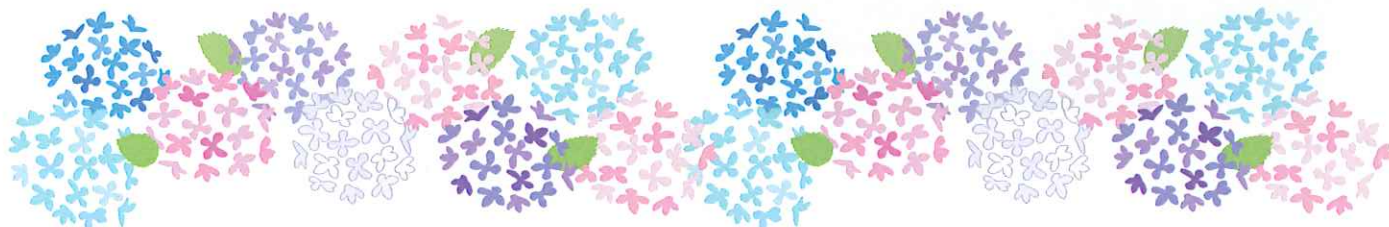
さて、昨今の社会情勢ですが、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、地球温暖化への取組として脱炭素化や自然災害、また、国益や経済活動のための覇権争いがある一方で、SDGsに向けた取り組みが声高に叫ばれるなど難しい問題が山積しています。

また、景気の動向については、厳しい経済状況の中から少しずつ明るい兆しが見え始めておりますが、雇用情勢の厳しさは、まだ注視しなければならないというのが現状でございます。

このような中、地域社会における活力を維持するとともに、高齢者の方々が元気に暮らせる社会をつくっていくためには、今後、さらに伊達市シルバー人材センターの役割が重要になって参ります。

本市議会といたしましても、高齢者が豊かな知識や能力を生かして社会を支える一員となり、自主的、自発的に就業、ボランティア活動、地域活動、文化教養活動など、幅広く社会に参加・貢献していただけるよう、今後とも伊達市シルバー人材センターの運営を支援して参りたいと考えております。

最後になりましたが、公益社団法人伊達市シルバー人材センターの益々のご発展と、理事長はじめ、会員並びに職員の皆様のご多幸、ご健勝を祈念申し上げます、定時総会にあたりましてのご挨拶といたします。



令和4年度定時総会に寄せて

北海道議会議員

中山 智 康

公益社団法人伊達市シルバー人材センター「令和4年度定時総会」の開催を心からお祝い申し上げます。

また、新型コロナウイルスにより直接ご挨拶させていただく事が出来ず、残念ではありますが、一刻も早い事態の終息を心から願っております。

さて、貴シルバー人材センターの活動については、市民の困り事の解決のため、ご活躍されておりますことに心から敬意と感謝を申し上げます。

今総会が実り多き総会となりますこと心からご祈念申し上げ、メッセージといたします。



令和4年度定時総会ごあいさつ

室蘭公共職業安定所長

村上 隆 一

伊達市シルバー人材センターの令和4年度定時総会の開催にあたり、ごあいさつを申し上げます。

新型コロナウイルスの感染状況が、現在の社会生活に大きな影響をもたらしている中で、本日、定時総会が開催されますことに心からお祝い申し上げます。

また、会員の皆様におかれましても、日頃からシルバー人材センター事業の運営をはじめ、高齢者の雇用・就業対策について深いご理解とご尽力を賜っていることに厚くお礼申し上げます。

さて、ハローワーク室蘭管内の雇用失業情勢は、新型コロナウイルス感染症の地域への影響はあるものの、新規求人数は令和3年度後半から前年度を上回る状況で推移しており、3月の有効求人倍率は1.21倍と、前年同月を0.11ポイント上回っておりますが、新規求人などの動きは、まだまだコロナ禍前には至っていない状況にあります。

こうした中、貴センターにおかれましては、設立以来、高齢者の方々に対し、多様なニーズに応えることのできる就業機会の確保など、国の高齢者の雇用・就業対策の一翼を担い、多くの方の経験を活かした就業による社会参加に貢献されていることに対し、深く敬意を表する次第です。

また、公益事業として、日頃から透明性の高い組織運営に努めていただいていることや就業機会の確保及び会員の拡大といったシルバー人材センターの機能強化に資する取組みに対しても、積極的にご尽力されており、あらためて敬意を表する次第です。

今後も、高齢者の方々健康で意欲と能力がある限り、年齢に関わらず働き続けることができる「生涯現役社会」を実現するためには、貴センターの役割がますます重要となって来るものと思われまじ、私どもハローワークといたしましても、皆様と連携を図り、雇用・就業の場の確保に努めて参る所存であります。

結びとなりますが、伊達市シルバー人材センターの更なる発展と、会員の皆様、役員の皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございませう。

令和4年度定時総会に寄せて

公益社団法人 北海道シルバー人材センター連合会
会長 下村 英 敏

伊達市シルバー人材センターの令和4年度定時総会の開催にあたり、北海道シルバー人材センター連合会会長として心よりお祝い申し上げます。

近年、シルバー人材センターを取り巻く環境は、めまぐるしく変化してきておりますが、とりわけ2年余りにわたる新型コロナウイルス感染症拡大に伴う社会、経済への影響はかつて経験したことのないほど甚大であり、シルバー事業につきましても、会員確保や就業機会確保をはじめ、取組全般にわたって困難性が高まっており、極めて厳しい事業運営を余儀なくされております。

このような中であっても、貴センターにおかれましては、シルバー事業における基本理念であります「自主・自立、共働・共助」のもと、役職員、会員が一丸となってシルバー事業を推進するための着実な努力を日々重ねられておりますことに深甚なる敬意を表します。

現下、新型コロナウイルス感染症の影響により社会、経済活動の停滞や縮小を余儀なくされておりますが、他方、人口の高齢化は急速に進展しており、働く意欲のある高齢者が、長年培ってきた知識や経験を活かし年齢にかかわらず活躍できる「生涯現役社会」の実現の重要性は、いささかも変わるものではありません。

具体的には、生産年齢人口が減少する中で人手不足分野を中心に高齢者の労働力が需要とされておりますし、また、「福祉・家事援助サービス事業」、「介護

予防・日常生活支援総合事業」、「放課後児童クラブにおける育児支援」など現役世代を支援する分野におきましても高齢者の労働力、特に女性会員の活用が求められております。こうした就業を通じて高齢者の福祉の増進に寄与するシルバー人材センターの役割と期待は今日においても、なお大きなものとなっております。

これら地域社会の期待に添えていくために、当連合会といたしましては、貴センターとの連携を密接に図りながら、シルバー事業を積極的に推進しつつ、現下の難局を乗り越えてまいりたいと考えております。

結びにあたり、貴センターの益々のご発展と、ご参会の皆様の一層のご活躍、ご健勝を心からご祈念申し上げます。祝辞といたします。



令和4年度 地区長紹介

地区名	地区長名	地区名	地区長名	地区名	地区長名
第1地区(黄金)	庄内 健司	第6地区(市街)	佐々木秀雄	第11地区(長和)	山中 岩雄
第2地区(稀府)	古米 稔	第7地区(末永)	荒 達夫	第12地区(有珠)	今 弘光
第3地区(舟岡A)		第8地区(末永)	須貝 透	第13地区(大滝)	鈴木喜代志
第4地区(舟岡B)	栗津 勉	第9地区(山下)	中野 博		
第5地区(竹原)	藤原 則子	第10地区(西浜)	佐藤 進		

令和4年度 表彰会員

20年会員



2地区 梅津 ツ工



12地区 田中 啓子



12地区 小貫 亮知



12地区 今 弘光



1地区 三上 定道



10地区 妻神 康夫



1地区 熊谷 正一



15年会員



4地区 岡 俊晴



7地区 猖々谷晴美



13地区 井谷 定義



5地区 谷村 稔



9地区 松本登美子



9地区 篠崎 博



8地区 池本 光幸



10年会員



4地区 本波 敏勝



7地区 伊藤 保雄



9地区 石川 勲



11地区 北藤 邦通



5地区 菊谷 敬志



7地区 菅原 保生



8地区 赤羽根 誠一



11地区 上野 勇



6地区 佐藤 保



13地区 木嶋 健一



13地区 草刈 和俊



5地区 市川 正義



1地区 竹津 春雄



9地区 廣澤 延晃



9地区 中野 博



安全適正就業委員会

事業部安全委員 今野 忠夫

令和4年度、伊達市シルバー人材センター安全大会が本年は早々と開催出来た事は、大変に良かったと思います。季節がら屋外就業も多く成る事と思います。

今期改めて安全意識を高め、急がず、焦らず、安全な作業をして下さい。就業をさせて戴く事は、大なり小なりのリスク(危険)が有ると思われるが、その危険を無くする為に、安全対策をする事です。

安全対策には、作業現場によって色んな対策が必要だと思います。まず初心に戻って、伊達市シルバー人材センター安全就業のために、令和4年度〔作業別安全就業基準〕を読んで戴きたいと思います。



K

危険

危ない所

Y

予知

まえもって安全
対策をする

K

活動

安全な作業
が出来る

会員の広場

「牛乳豆腐」の美味しさ

3地区 堀 幸子

コロナ禍の中、ニュースで牛乳余りが報じられた時「牛乳豆腐」の懐かしい味が突然よみがえってきました。

実家は、水田と酪農が主の農家で、牛が出産すると初乳は子牛が飲む以外は余ったが、それを豆腐のように固めていました。記憶の中の初乳で作られた物は、きっともう二度と口にはできない美味なる食べ物でした。

子供の私が大人のまねをして、山ワサビを醤油に溶かして食べた時、鼻がツーンとしたが、今にして思うとカッテージチーズの味で、チーズなど知らない時代のご馳走でした。

作り方を思い出しながら調理して食卓に並べたら、夫は「何これ」と言いながらも箸が進み好評でした。ホエー液も利用方法が沢山あって捨てる処などありません。是非試して。



※感想

堀さんが読売新聞に投稿し、掲載された文章を「ふれあい」のために書き直して頂きました。

旧会員の久慈さんが新聞を読んで連絡くださったそうです。大変うれしかった…との事、いろんな事で繋がっていたいものですね。

「牛乳豆腐」の作り方

◎材料

牛乳…1,000cc (無調整)
酢……50cc～80cc
(酢が多いと固くなる)

◎作り方

- 1.牛乳を鍋に入れ中火で沸騰直前(95°～98°位)まで、こがさないように気を付ける。(軽くブツブツとなる程度)
- 2.火を止め酢を入れゆっくりかき混ぜる。
- 3.分離してくるので、目の細かいザルやガーゼ等で水分と豆腐と分けて出来上がり。(ラップ等で型を整える)

※水分はホエーといって栄養があり、肉を漬けると大変柔らかくなり、味噌汁等にも利用するといひそうです。(堀さん談)

※温かいうちにワサビ醤油で…。冷やしても美味しいです。



147号

編

編

後

記

新型コロナウイルス感染症の終息が未だに見えず、マスク生活も3年目に入りました。しかし、このような状況の中でも感染の予防に努めながら、人との触れ合いを大切にしたいものです。

シルバーでは、サークル活動などの自粛が続いております。今年も「ふれあい祭り」を中止せざるを得なくなりました。シルバーの活動では、仕事を通してシルバー世代の力を地域社会に役立てる事が求められていますが、会員同士の触れ合い、支え合い、そして何気ない会話が活動の原動力となると思います。それが私達の生きがいとなるのではないのでしょうか。

菅原 保生、鈴木 紀子、加藤 美恵子、名須川智恵子、佐藤 久美子